

ナンバリング		授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】/(分野)		授業形式					
M314M107		組織学 (Histology)					コース共通専門分野							
必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	主に使用する言語		その他に使用する言語		担当形態				
必修	1	1	医学部先進医療科学科	後期	月4	日本語		英語		複数(共同)				
担当教員	氏名 濱田文彦・千葉政一・三浦真弘・二宮 遼・久保修一													
	E-mail hamadaf1@oita-u.ac.jp 内線 5620													
授業の概要	ミクロ的視点（組織・細胞レベル）から、血液・造血管・リンパ系、神経系、運動器系、循環器（心血管）系、呼吸器系、消化器系、泌尿器系、生殖器系、内分泌系、視覚器系、平衡聴覚器系の正常構造と機能を理解する。													
具体的な到達目標							DP等の対応(別表参照)	1	2	3	4	5	6	7
目標1 人体を構成する4種の組織（上皮・結合・筋・神経）の構造を説明できる。								○		○				
目標2 各器官系の正常構造と機能を説明できる。								○		○				
目標3														
目標4														
目標5														
目標6														
目標7														
目標8														
目標9														
目標10														
各DPへの関連度（計10）								8		2				
授業の内容														
1	イントロダクション・上皮組織・結合組織													
2	血球・脈管・筋組織													
3	骨・軟骨組織・神経組織（中枢神経を含む）													
4	内分泌系・泌尿器系（1）													
5	泌尿器系（2）・生殖器系													
6	消化器系													
7	視覚器・平衡聴覚器													
8	呼吸器系・リンパ系													
9	予備1													
10	予備2													
11	予備3													
12	予備4													
13	予備5													
14	予備6													
15	予備7													
ラーニング	A:知識の定着・確認	○	小テストを行う場合がある				工 夫 の 他 の							
	B:意見の表現・交換	○												
	C:応用志向													
	D:知識の活用・創造													
授業時間外学修の内容と想定時間	準備学修	講義で使用する資料（講義前に配布予定）を中心に予習する（1h）。												
	事後学修	講義内容を復習する（2h）。												
	想定時間合計	24												
教科書	Mescher 著 ジュンケイラ組織学 第6版（原著第16版）（丸善出版）2024，ISBN 978-4-621-30885-1													
参考書	阿部・牛木著 組織学 改訂20版（南山堂）2019，ISBN 978-4-525-11080-2 牛木著 入門組織学 改訂第2版（南江堂）2013，ISBN 978-4-524-21617-8 Youngら著 ウィーター図説で学ぶ機能組織学 原著第6版（エルゼビア・ジャパン）2018，978-4-86034006-3													

成績評価の方法及び評価割合	評価方法	割合	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10
	期末試験	100%	○	○								
注意事項	講義・実習およびその資料（特に人体および人体標本とその写真・ヒト以外の動物および動物標本とその写真）の撮影・録画・録音、インターネットへの掲載・投稿をしないこと。講座・学務課から送られるメールのチェックを怠らないこと。											
備考												
リンク												
	URL											
担当教員の 実務経験の有無	○											
教員の 実務経験	濱田・千葉（医師）											
実務経験を いかした教 育内容	組織学において学ぶ内容の臨床的意義を解説し、学生の学習意欲を高める。											